



PCI Multiprotocol アダプター

ユーザーズ・ガイド

OPTIONS
by IBM

注： 本書および本書に記載される製品をご使用になる前に、3-3ページの付録B、『特記事項』を必ずお読みください。

第 1 版 (1997 年 11 月)

原 典： 4304434

PCI Multiprotocol Adapter

User's Guide

発 行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 1997.11

©Copyright International Business Machines Corporation 1997. All rights reserved.

Translation: ©Copyright IBM Japan 1997

目次

安全に正しくお使いいただくために	iv
絵表示について	iv

第 1 部: クイック・インストレーション	1-1
-----------------------	-----

第 2 部: ユーザーズ・ガイド	2-1
------------------	-----

第1章 はじめに	2-2	第2章 診断プログラム	2-3
パッケージ内容	2-2		

第 3 部: 付録	3-1
-----------	-----



付録A. ヘルプおよびサービス情報	3-2	付録B. 特記事項	3-3
ステップ 1: トラブルシューティング	3-2	情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) 表示	3-3
ステップ 2: サポートを受けるには	3-2	IBM 機械コードのご使用条件	3-4
		商標	3-5

安全に正しくお使いいただくために

この製品を安全に正しくお使いいただくために、このマニュアルには安全表示が記述されています。このマニュアルを保管して、必要に応じて参照してください。

絵表示について

あなたとあなたの周りの人々の危害および財産への損害を未然に防止するために、このマニュアルおよびこの製品の安全表示では、以下の絵を表示しています。

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある危険が存在する内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

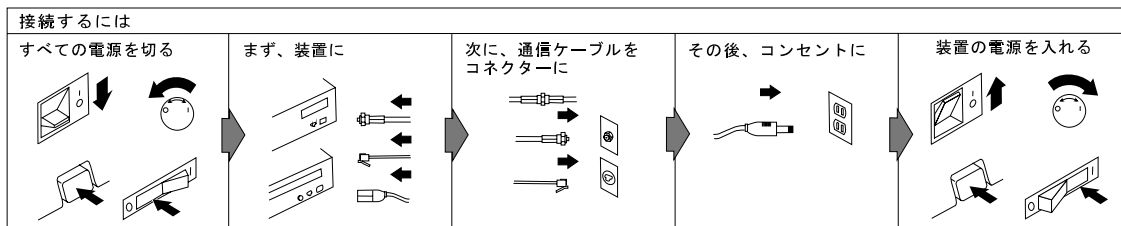
危険

- この製品を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- この製品の構成に電話ケーブル接続、通信ケーブル接続が含まれている場合、付近に雷が発生しているときは、それらのケーブルに触れないようにしてください。
- 電源プラグをコンセントに接続する前に、コンセントが正しく接地されており、正しい電圧であることを確認してください。
- 万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから必ず抜いて、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。
- 万一、異物（金属片、水、液体）が製品の内部に入ったときは、すぐに製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから必ず抜いて、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

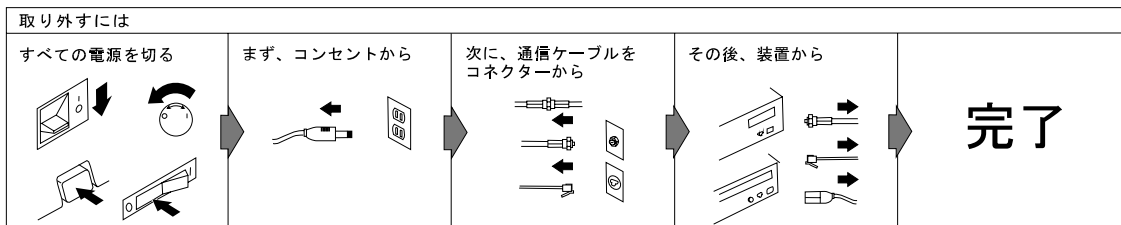
⚠ 危険

- ケーブル類の取り付け、取り外し順序。

電源コード、電話ケーブル、通信ケーブルからの電流は身体に危険を及ぼします。設置、移動、または製品のカバーを開けたり装置を接続したりするときには、以下のようにケーブルの接続、取り外しを行ってください。



電話ケーブル、通信ケーブルまたはテレビのアンテナ線を接続する製品は、雷の発生時にはケーブルの接続をしないでください。



電話ケーブル、通信ケーブルまたはテレビのアンテナ線を接続する製品は、雷の発生時にはケーブルの取り外しはしないでください。

注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
(必ずプラグを持って抜いてください。)
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 長時間使用しないときは、電源プラグを AC コンセントから抜いてください。

第 1 部: クイック・インストレーション

IBM PCI Multiprotocol アダプターを導入するには

重要:

1. 本書の図は、お客様のハードウェアと多少異なる場合があります。
2. 何かが欠けているか損傷している場合は、購入先にご連絡ください。
3. 援助、技術サポート、および保証サービスを得る方法については、3-2ページの付録A、『ヘルプおよびサービス情報』を参照してください。領収書は必ず保管しておいてください。保証サービスを受けるのにそれが必要になる場合があります。

始める前に

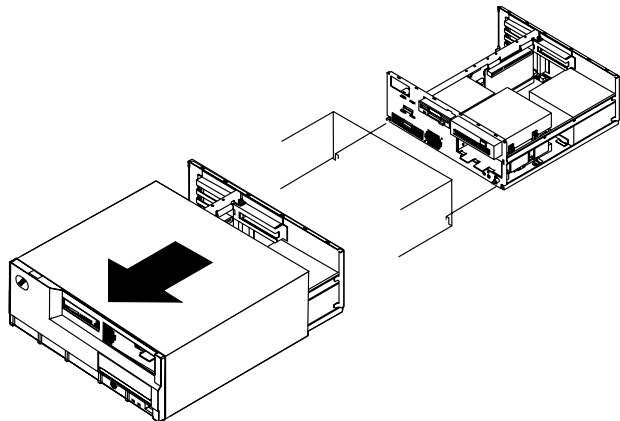
注: アダプターとソフトウェアを導入する前に、コンピューターとオペレーティング・システムをセットアップする必要があります。このアダプターを使用するには、本製品に付属していない通信ソフトウェアが必要です。

アダプターを導入するには、以下の品目が必要です。

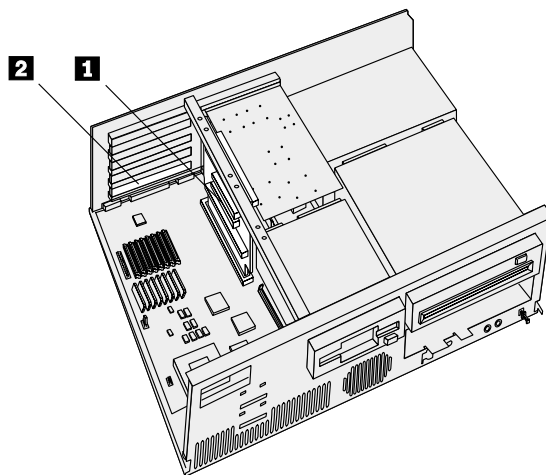
- コンピューター用の導入手順書
- オペレーティング・システム用の導入手順書
- 外部デバイス (つまりモデム) に接続するための通信ケーブル
- マイナスのねじ回し

アダプターを取り付ける: IBM PCI Multiprotocol アダプターを取り付けるには、次のようにしてください。

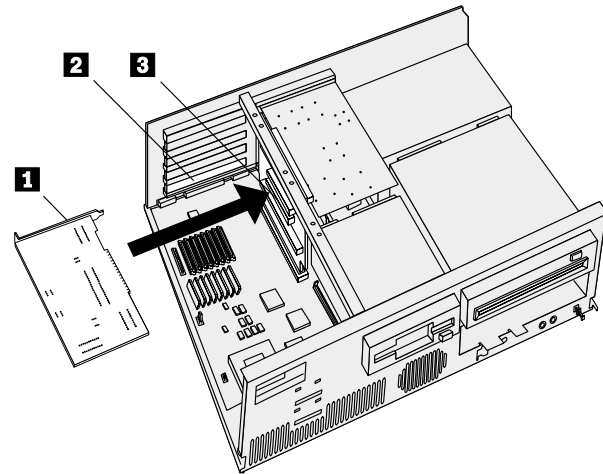
1. コンピューターおよびそれに接続されたデバイスの電源スイッチをオフにします。すべての電源コードのプラグを抜きます。
2. コンピューターからカバーを取り外します。必要に応じて、コンピューターの資料を参照してください。



3. 空の PCI 拡張スロット **1** を選択します。
 - a. 拡張スロットの識別についての情報は、コンピューターの資料を参照してください。
 - b. 拡張スロット・カバー **2** を取り外すには、ロックねじを緩め、カバーを引き出します。



- c. アダプター **1** を拡張スロットの空いている部分 **2** に位置させし、PCI 拡張スロット **3** にしっかり押し込みます。ロックねじを締めます。
- d. 追加のオプションがあればそれを取り付けます。
- e. コンピューター・カバーを取り付け直します。
- f. 電源コードを再接続します。
- g. 通信ケーブルの片端をアダプターに接続し、ケーブルの他方の端を DCE 装置 (つまり、モデム) に接続します。
- h. アダプターはこれで使用できるようになっています。



Windows95 でアダプターを導入する

1. コンピューターの電源スイッチをオンにし、Windows95を開始します。
2. 画面にデバイスドライバウィザードダイアログ・ボックスが表示されます。ダイアログ・ボックスに PCI Communication Device という言葉が表示されます。
3. アダプターとともに提供されたディスクレットをディスクレット・ドライブに挿入します。
4. 次へをクリックします。
5. 画面に「ドライバが見つかりました」と表示されます。
6. 完了をクリックします。

7. アプリケーション・プログラムを選択し、アダプターを使用するための手順に従います。(本アダプターをサポートするアプリケーション・プログラム、パーソナル・コミュニケーションズ (PCOMM) J4.2 は別売です。)

Windows NT 4.0 でアダプターを導入する

1. コンピューターの電源スイッチをオンにし、Windows NTを開始します。
2. アプリケーション・プログラムを選択し、アダプターを使用するための手順に従います。(本アダプターをサポートするアプリケーション・プログラム、パーソナル・コミュニケーションズ (PCOMM) J4.2 は別売です。)

第 2 部: ユーザーズ・ガイド

第1章

はじめに

IBM PCI Multiprotocol アダプター・バス・マシンは、他の対等システム、または AS400 や S/390 などのホスト・システムとの通信を提供します。アダプターが取り付けられた後、アダプターの使用は導入済みのアプリケーション・プログラム（本アダプターとともに出荷されません）によって決まります。ご使用の特定のアプリケーション・プログラムについての手順を参照してください。システムごとに最大 2 つのアダプターを取り付けることができます。

同期通信は最大 56KBPS までサポートされ、非同期通信は最大 115.2KBPS までサポートされます。

パッケージ内容

アダプター・パッケージにはいくつかの品目が含まれています。モデムを操作する前に、すべてが揃っていることを確認してください。パッケージには、次のものが含まれている必要があります。

- IBM PCI Multiprotocol アダプター
- アダプター診断プログラム（ブート可能）
- IBM PCI Multiprotocol アダプター ユーザーズ・ガイド（本書）

これらの品目のどれかが欠けている場合は、お買上げの販売店にご連絡ください。

通信ケーブルも必要です。ケーブルの要件は異なりますが、同期/非同期通信ケーブル（IBM 部品番号 1502067）は、ほとんどの同期および非同期のアプリケーション用に使用できます。

第2章 診断プログラム

IBM PCI Multiprotocol アダプター用の診断プログラムが入っているディスクレットが提供されます。アダプターで問題が生じるような場合に、問題の発生源を判別するための診断プログラムを使用することができます。診断プログラムを実行するには、次のようにしてください。

- IBM PCI Multiprotocol アダプターが取り付けられているコンピューターの電源を切ります。

- IBM PCI Multiprotocol アダプターからケーブルを切り離します。
- 診断ディスクレットをディスクレット・ドライブに挿入します。
- コンピューターの電源をオンにします。
- ディスクレットはコンピューターをブートアップします。そのつど指示に従います。

コンピューター内に 2 つの IBM PCI Multiprotocol アダプターが取り付けられている場合は、両方のケーブルを取り外す必要があります。

第 3 部: 付録

付録A.

ヘルプおよびサービス情報

電話をする前に、以下の手順に従って電話をするための準備をしてください。

ステップ 1: トラブルシューティング

問題を自分自身で解決することが可能な場合があります。以下のどれかが正常でない場合、これを正しく行えばそれに対応した問題が解決される場合があります。

1. 電源ケーブルを含むすべてのオプション・ケーブルを取り外し、再び接続します。
2. モデムに電源が入っていることを確認します。
3. ソフトウェア手順書があったら読み直します。ソフトウェアの設定が正しいことを確認します。
4. オプションに損傷がないか検査します。

5. 導入手順についてコンピューターのマニュアルを調べます。システム・セットアップまたはシステム構成についてのセクションを探します。すべての手順に従います。

ステップ 2: サポートを受けるには

技術サポート担当員に役立つように、次の情報のうちできるだけ多くを入手します。

1. コンピューターのメーカーおよびコンピューターのモデル
2. オプション名: IBM PCI Multiprotocol アダプター
3. 領収書
4. エラー・メッセージの正確な言い回し (ある場合)
5. 問題の説明
6. システムのハードウェアおよびソフトウェアの構成情報

できれば、コンピューターのところにいてください。技術サポート担当員は、電話の間にユーザーに問題をざっと再現することを願う場合があります。

付録B. 特記事項

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのようなIBM製品、プログラミングまたはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBMライセンス・プログラムまたは他のIBM製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBMの知的所有権を侵害することのない機能的に同等な他社のプログラム、製品またはサービスを使用することができます。ただし、IBMによって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検証はおお客様の責任で行っていただきます。

IBMおよび他社は、本書で説明する主題に関する特許権（特許出願を含む）商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用权等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用权等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒106 東京都港区六本木3丁目2-31
AP事業所
IBM World Trade Asia Corporation
Intellectual Property Law & Licensing

情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) 表示

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

IBM 機械コードのご使用条件

お客様が電子的、初期導入済み、記録媒体、またはその他の方法で入手された、BIOS、ユーティリティ、ダイアグノスティック、デバイス・ドライバーまたはマイクロコードを総称して、「機械コード」といいます。「機械コード」または「機械コード」が組み込まれた機械を使用すると以下の条件に同意したものとみなされます。「機械」とは、IBM 機械本体、携帯、形式変更、機械構成部もしくはアクセサリまたはその組み合わせを意味します。このご使用条件に同意いただいた場合、お客様は、このご使用条件が同梱された機械（以下「対象機械」）といえます。）とともに「機械コード」を使用することができます。

「機械コード」の著作権は、インターナショナル・ビジネス・マシーンス・コーポレーション、その直接もしくは間接の子会社（以下総称して「IBM」といいます。）または「機械コード」の供給元に属します。

IBM は、お客様に対し「機械コード」を「対象機械」のみで使用するための非独占的な使用権を許諾します。お客様が「対象機械」の正当な占有者である場合、お客様は、予備用、コンフ

ィグレーション用または「対象機械」の修復の目的で、「機械コード」を必要とする合理的な範囲の数まで複製することができます。この場合、お客様には、「機械コード」の複製物に IBM のための著作権表示を行っていただきます。

お客様は、「対象機械」と共に移転する場合に限り、「機械コード」およびその記録媒体を第三者に移転できます。この場合、お客様は、この「IBM 機械コードのご使用条件」およびすべての関連資料を「対象機械」と共に当該第三者に移転するものとします。お客様は、移転に伴い「機械コード」のすべての複製物を破毀するものとします。

お客様の使用権は、お客様が「対象機械」の正当な占有者でなくなった時点で消滅します。

お客様は、このご使用条件に明示する他、いかなる権利も取得しません。

お客様は、「機械コード」について、次のことを含む他のいかなる使用もできません。

1. お客様は、「対象機械」の関連資料で定める場合を除き、「機械コード」を複製、表示、移転、改作、修正するこ

と、またはいかなる形態であれ配布もしくは送信することはできません。

2. 法律の強行法規のある場合を除き、お客様は、「機械コード」を逆アセンブル、逆コンパイル、解読または翻訳することはできません。
3. お客様は、「機械コード」を再使用許諾または使用権の譲渡はできません。
4. お客様は、「機械コード」またはそのいかなる複製物も賃貸することはできません。

「機械コード」には、「対象機械」の売買契約書または保証書に記載の保証条件が適用されます。「機械コード」に対する保

証または損害賠償責任については、当該売買契約書または保証書をご覧ください。

商標

以下の用語は米国内、およびその他の国々における IBM Corporation の商標です。

Help Center AS/400

HelpWare IBM

Microsoft Microsoft Corporation

Windows95 Microsoft Corporation

Windows NT 4.0 Microsoft Corporation



部品番号: 12J2989

Printed in Japan



12J2989

日本アイビーエム株式会社

東京都港区六本木 3-2-12 〒106
TEL (03) 3586-1111



SA88-5974-00